

令和5(2023)年度のEPO業務 実施報告資料

2024年2月6日

第2回 ESD/EPO運営委員会

主催イベント業務

【前提として】本年度業務における支援・連携の対象

a) 環境省事業(PF事業)の採択団体

- ① 合同会社ローカルSDクリエーション(福井県丹南地域)【PF丹南】採択2年目
- ② 荒山林業(長野県大町市)【PF大町】採択2年目

【採択団体への支援に加えて】

- 11月に採択団体が集まり「中間共有会」(取組報告会)をEPOが開催
- 過年度採択団体の取組状況の把握(ヒアリング実施)
- 事業化支援にステップアップした「ななおSDGsスイッチ」(石川県七尾市)の事業化支援プロセスの把握

b) 協働コーディネーターとの連携事業

- 山室氏(長野県NPOセンター事務局長)と連携して長野県長野市等でローカルSDGs勉強会を2回実施
- 寺田氏(ネクストステップ研究会)と連携して三重県北勢エリアで地域循環共生圏フォーラムを開催
- 協働コーディネーターと情報・意見交換会の実施

c) その他

- 身近な自然資本の活用に関する意見交換会の実施(計2会合を実施)
 - 自然資本を基盤とする地域づくりに関するパートナーシップ促進=地域循環共生圏づくり
- [OECM: 民間取組等と連携した自然環境保全](#) 
- グリーン社会実現に向けたステークホルダー連携促進事業会合の実施(計4会合を実施予定)
 - ヒト・モノ・カネ・情報をつなぐ場の開催と地域内の対話の促進により、地域循環共生圏のドミノ波及を図る

2023年度EPO中部主催イベント／会合業務

区分	エリア	設営	時期	テーマ・内容	備考
①地域循環共生圏フォーラム	三重県北勢エリア	会場:じばさん	2月16日	地域循環共生圏フォーラム in HOKUSEI「北勢エリアで“循環”の輪を拡げよう！」	<ul style="list-style-type: none"> ● 共催:一般社団法人ネクストステップ研究会(協働コーディネーター・寺田氏が代表) ● アミタ(株)、うつべ農園(株)、北勢公設卸売市場(株)、ネクストステップ研究会が登壇予定。
②SDG/地域循環共生圏ワーキング	中部	会場:ウインクあいち	11月6日	自治体のローカルSDGsの指標、目標設定や達成度評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 主に自治体職員を対象にした勉強会 ● 講演:法政大学教授・川久保先生、国際連合地域開発センター・浦上先生 ● EPO中部の「SDGs指標物語」と「活動見える化プログラム」紹介
③活動主体との情報・意見交換会(協働コーディネーター会合)	中部	会場:ウインクあいち	9月1日	協働コーディネーターとの情報・意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境省施策の情報提供 ● 活動見える化P・SDGs指標物語の情報共有 ● 協働コーディネーターの近況報告 ● 地域活動の課題等について意見交換 など
④PF事業中間共有会(中部ブロック会合)	福井県丹南エリア	会場:市民プラザたけふ	11月9日・10日	PF事業活動団体の取組状況報告会／PF丹南の活動視察	<ul style="list-style-type: none"> ● PF丹南の活動エリア(福井県越前市等)で開催予定 ● エクスカでは、PF丹南関係団体によるエコツアー体験／現場巡りを予定
⑤協働コーディネーターと連携した実践活動	長野県長野市	会場:長野市ふれあい福祉センター	1月13日	食育と農による持続可能な地域づくりを考えるワールドカフェ	● 市民による食と農のコミュニティ形成事例をシェア、及びネットワーク形成を目指す
			2月4日	地域の取組を聞きながら「持続可能な社会・地域づくり」を考える	● いもいりビングらぼ「草刈りバスターズ養成事業」や他地区・企業等の事例学習を予定
⑥白書を読む会	中部	会場:東海学園大学＋オンライン	7月1日	大学の授業形式で環境白書を概説、及び学生との意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1部:東海学園大学で環境省職員によるR6環境白書について講演 ● 第2部:杉山範子先生、学生、中部地方環境事務所職員による質疑応答ディスカッション

2023年度EPO中部主催・地域循環共生圏関連イベント業務

区分	エリア	設営	時期	テーマ・内容等	登壇者等
⑦ 身近な自然資本の活用に関する意見交換会(2会合)	1 長野県	会場:長野市生涯学習C+オンライン	12月19日	信州の森林・里山フォーラム「地域資源としての森林・里山の価値向上について考える」	<ul style="list-style-type: none"> ● 取組紹介・パネリスト登壇:東急リゾーツ&ステイ、トビムシ、里山ウェルネス研究会、中部電力 ● 関係機関登壇:林野庁中部森林管理局、長野県
	2 愛知県	会場:名古屋能楽堂+一部オンライン配信	1月26日	企業の生物多様性保全の取組についての勉強会【クローズド会合】	<ul style="list-style-type: none"> ● EPOC共催 ● 講演:自然共生サイト認定審査委員の有識者2氏 ● 自然共生サイト事例:サイト認定企業5社(リコー、テクノ中部、人間環境大学、トヨタ自動車、シヤチハタ)
⑧ グリーン社会実現に向けたステークホルダー連携促進事業(4会合)	1 三重県鳥羽市	会場:鳥羽商工会議所	1月16日	環境へのアプローチを活かした鳥羽の観光創発ミーティング【クローズド会合】	<ul style="list-style-type: none"> ● 協力:鳥羽市、鳥羽市温泉振興会 ● 講師登壇:扇芳閣、海女・フォトグラファーの大野氏 ● 取組発表:宿泊事業者等5社(鳥羽シーサイドホテル、鳥羽国際ホテル、戸田家、ジ・アース、鳥羽市リサイクルパーク)
	2 愛知県知多5市5町	会場:未定	未定	(仮)知多エリアの地域交通×脱炭素について考える【クローズド会合】	<ul style="list-style-type: none"> ● 半田市等関係地域と調整中。
	3 北陸	会場:福井銀行本店+オンライン	2月7日	地域脱炭素の実現に向けた事業者・金融機関向けセミナーin北陸	<ul style="list-style-type: none"> ● 主催:財務省北陸財務局、経産省近畿経済産業局、中部地方環境事務所、EPO中部/共催:福井銀行、福邦銀行 ● 企業・自治体の取組紹介:千葉エコ・エネルギー、井上小水力発電、福邦銀行、敦賀市ふるさと創生課
	4 中部	会場:ウインクあいち+オンライン	2月28日	サーキュラーエコノミーフォーラムin中部「中部における“循環経済”の最新情報・動向について」	<ul style="list-style-type: none"> ● 登壇自治体(予定):愛知県、愛知県蒲郡市、富山県高岡市 ● 登壇企業(予定):日本製鉄、ハリタ金属、三重中央開発
	3 中部	会場:名古屋銀行協会+オンライン	2月13日	地球温暖化に関する中部カンファレンス「水素・アンモニア実装にむけての中長期展望」	<ul style="list-style-type: none"> ● 自治体・企業の報告:愛知県水素社会実装推進室、日本郵船、JERA ● 関係機関登壇:中部経産局、中部地整、
4 愛知県奥三河	—	—	2月14日	<ul style="list-style-type: none"> ● 設楽町等奥三河エリアにおける地域課題解決型地域サービスの展開についての2/14会議に参加し、次年度展開案について企画整理を行う。 	

①地域循環共生圏フォーラムin HOKUSEI

- 2024年2月16日に、三重県四日市市で、地域循環共生圏フォーラムin HOKUSEI「北勢エリアで“循環”の輪を広げよう！」を開催。
- 協働コーディネーター・寺田氏が代表をつとめる(一社)ネクストステップ研究会との共催で実施。
- ネクストステップ研究会は、次年度の地域循環共生圏づくりの環境省事業に応募予定である。

地域循環共生圏フォーラムin HOKUSEI **参加無料**

北勢エリアで“循環”の輪を広げよう!

三重北勢でもはじまっています!
ゴミも地域課題もいらないものにするのではなく、地域の資源・資本にする取組を、いま少しずつですが進めています。
家庭の中の小さな資源循環を、地域の大きな資源循環の輪へ、みなさんと一緒につなげていきましょう。

2024年2月16日(金) 13:30~16:30
会場：四日市市地場産業振興センター
じばさん 5階・大研修室
四日市市安島1-3 → 近鉄四日市駅から徒歩5分
Googleマップ：<https://yokkaichi-shinko.com/jibasan/access.html>

プログラム

第1部 [ごあいさつ]

地域循環共生圏について 環境省中部地方環境事務所

[講演]

資源循環をきっかけとした互助共助のコミュニティづくり
アマタ株式会社 地域デザイングループ 地域デザインチーム マネージャー 福田 栄二 氏

[地域の取組紹介]

1. 農業と食とコミュニティの地域循環 うつべ農園 会長 上 麻理 氏
2. 市場課題と地域循環を目指して 北勢公設卸売市場株式会社 業務課長 石黒 誠 氏
3. 家庭から作る小さな循環をつなぐ
一般社団法人ネクストステップ研究会 代表 寺田 卓二 氏

第2部 [ワークショップ]

北勢エリアでつながる“循環”の輪のさらなる拡がりをめざして
ファシリテーター：EPO中部

終わりにあたり 一般社団法人ネクストステップ研究会

お申し込みはこちらから!

- 参加申込フォーム <https://forms.gle/44qBwXsYCa22ZRS26>
- EPO中部ウェブサイトからも申込できます。
<https://www.epo-chubu.jp>

EPO 中部

EPO中部
Environmental Partnership Office Chubu
環境省中部環境パートナーシップオフィス

主 催：環境省中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部)
共 催：一般社団法人ネクストステップ研究会

②ローカルSDGs/地域循環共生圏セミナー（自治体職員向け勉強会）

自治体職員向けローカルSDGs/地域循環共生圏セミナー

ローカルSDGsの指標と

達成度評価

～活用可能なサイト/ツールの紹介と
トライアル（試してみましょう！）～

日時：11月6日(月)13:30～16:30

会場：ウインクあいち 12階・会議室1201

(名古屋市中村区名駅4丁目4-38/名古屋駅から徒歩5分 / <https://www.wink-aiichi.jp/access>)

対象 自治体職員 定員 50人（参加無料）

参加方法 参加申込フォーム：下記URLから
<https://forms.gle/vsLFMuaGZ7noPzF79>

- ・ 右のQRコードからも申込可能です。
- ・ ウェブサイト（※「EPO中部」で検索）からも申込できます。



第1部

- ・ ごあいさつ、情報提供
—— 環境省中部地方環境事務所環境対策課
- ・ EPO中部の紹介と本日の趣旨について
—— EPO中部
- ・ 基調講演] ローカルSDGsの策定とその達成に向けた
アクションを誘発するオンラインプラットフォーム
自分の地域で試してみる
・ ローカルSDGsプラットフォーム <https://local-sdgs.jp>
・ プラットフォームクローバー <https://platform-clover.net>
—— 法政大学デザイン工学部教授 川久保 俊 氏
- ・ 話題提供] 自治体SDGsモニタリングツールと達成度評価(2015-2022)
自分の地域で試してみる
・ 自治体SDGsモニタリング 達成度ダッシュボード
https://chubu-sdgs-platform.jp/information_dissemination/
—— 国際連合地域開発センター 研究員 浦上 奈々 氏
- ・ 事例を見える化] EPO中部による「SDGs指標物語」と「活動見える化プログラム」
—— EPO中部 原 理史

第2部

- ・ 共有ディスカッション(SDGsの活用・実践における課題感、今回紹介サイト/ツールの活用アイデア)、川久保先生による講評 など

自分の地域で試してみる → ご参加の際、ノートPCやタブレットなどをご持参されますと、講師の解説を聞きながら、実際にサイト/ツールをお試しいただけます。

主催：環境省 中部環境パートナーシップオフィス（EPO中部）

- 11月6日に自治体職員向け勉強会として、「ローカルSDGsの指標と達成度評価」をテーマにしたセミナーを開催。
- 法政大学・川久保氏、国連地域開発センター・浦上氏による講演と共に、地域づくり事例の見える化ツールとして「SDGs指標物語」と「活動見える化プログラム」を紹介した。
- ワーキング(ディスカッション)の実施によるリアル交流を重視し、会場開催のみとし、自治体職員19名が参加。
- 基調講演講師や参加者から、地域単位のSDGs指標・達成度に対し、プロジェクト単位の指標の捉え方の重要性を認識することができた、ほかの見える化チャートも見てみたいなどの声が寄せられた。



③協働コーディネーター情報交換会

堺委員が出席

実施内容の詳細

	プログラム	時間	協働コーディネーターの活動紹介等
13:30～16:00 (150分)			
1	改めて自己紹介と近況報告	40分 (5分×6人)	● 【全員】自己紹介・近況報告 ※ 作成いただいたバウボ資料「自己紹介と近況報告」はEPOウェブサイトの「協働コーディネーター」ページにも掲載させていただきます。
2	《話題提供1》 中部地方環境事務所から : 情報提供・共有等	15分	● 中部地方環境事務所環境対策課長補佐 縄野さんより
3	《話題提供2》 協働コーディネーターから : EPO連携事業の紹介	20分 (5分×3人)	● 【三田村さん】地域循環共生圏づくりPF構築事業の活動紹介 ● 【山室さん】協働促進業務(信州地域SDGs講座等)の紹介 ⇒代理: EPO説明 ● 【堺さん】ESD学び合いプロジェクトの紹介
4	《話題提供3》EPO中部から : 見える化P、SDGs指標物語等紹介	15分	● EPO中部 原より
	休憩	10分	
5	質疑応答と意見交換	50分	
16:00～16:45 (予備/撤収45分)			
延長戦フリートークで意見交換のつづき(交流タイム予備時間)／事務局は後片付け等(17時施設厳守)			
16:45頃には懇親会会場へ移動			
17:00～19:00 (約120分) 懇親会			

- 9月1日に、EPO中部・協働コーディネーター6名が出席して情報交換会を開催。
- 近況報告のほか、それぞれの地域活動の取組状況と課題を共有したうえで、関係省庁や自治体など行政機関との連携・協力のあり方に焦点をあてた意見・情報交換を行うことができた。
- 各コーディネーターの現状や今後の意向(特に環境省事業への応募の意向等)を把握することができた。
- 特に意見交換では、中部地方環境事務所担当官を交えて、行政機関との付き合い方のディスカッション／アドバイスが参考になった、刺激になったとの感想をいただいている。



④PF事業中間共有会の実施

加藤義人委員、
水上委員が出席



- 2023年11月9-10日に、PF事業の中部ブロック中間共有会を福井県越前市で開催。計24名が出席。
- 2活動団体による取組報告のほか、出席者を交えた意見交換などを実施。
- 2日目にはエクスカーションとして、PF丹南の活動に関連する施設・場所を見学する視察を実施。



会議の休憩時間でコーヒースタンドを兼ねた交流タイムを設定



2日目はPF丹南の活動関係地を視察するエクスカーションを実施

⑤協働コーディネーターと連携した実践活動

- 協働コーディネーター・山室氏の所属先である長野県NPOセンターと連携し、2024年1月13日に食育と農をテーマにしたワールドカフェ、2月4日に「草刈りバスターズ」を研究事例にした勉強会を開催。
- 地域課題解決を目指した協働取組のあり方を参加者と考えるワーキングを実施した。

食と農、環境は一体。いのちがつながっている。想いを持つ仲間もつながろう！

食育と農による持続可能な地域づくりを考えるワールドカフェ

参加無料・募集 40名 (先着順)

◇日時 2024年1月13日(土)10:00~14:00
途中に昼食休憩をはさみます。持ち寄りは大歓迎！
おすすめのお料理や一品をご提供くださると、とてもうれしいです

◇場所 長野市ふれあい福祉センター 4階 和室ほか
4の3会議室と料理実習室も使います (長野市大字鶴賀緑町 1714-5)

思いや困りごとなどをお持ちください
食と農をめぐる抱えている課題や思いを、参加者で自由に話し合い、課題解決と持続可能な地域づくりに向けた新たな「つながり・共創」を生み出せたらステキだと考えています

・なんでも値上がりで困る
・子どもたちの健康と食を守りたい
・自給率が低い日本の食が心配
・耕作放棄地が増え地域が荒れている
・有機学校給食を実現したい
・食品ロスがもったいない
・食と農の将来、地球環境も心配...

無理はお願いませんが、当日お持ちくださるとうれしいもの
1. 食と農への思い、困りごと、課題や話題など
2. みなさんの取組を知らせるチラシやパンフレットなどあれば
3. お昼やおやつにおすすめのお料理や品物など無償でご提供くださるもの

参加のお申し込みは、二次元コード先の Google フォーム→
または電話で、お名前と連絡先の電話番号をご連絡ください。
電話 026-269-0015(長野県NPOセンター)
<https://forms.gle/T6eel.vbU6W4ncYd9>

【主催】環境省中部環境パートナーシップオフィス/EPO 中部
特定非営利活動法人 長野県 NPO センター
〒381-0034 長野県長野市大字高田 1029-1
電話 026-269-0015 FAX026-269-0016
メール info@npo-nagano.org

【協力】NPO 法人食育体験教室・コラボ/信州むらがな料理普及隊 旬食の会

EPO 中部「信州地域における協働取組の促進のためのワークショップ」

「草刈りバスターズ」は地域のやっかいごとを刈り払えたか!?

◇日時 2024年2月4日(日)14:00~16:30
◇場所 長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

〇参加無料
〇要事前申し込み (先着40名)

人口減少と高齢化が進む中山間地域を維持していくことは難しい。「SDGs未来都市」である長野県がめざしている「確かな暮らしを守り、信州から豊かな社会を創る」ために必要なことはなんだろうか？
長野市芋井地域の「草刈りバスターズ」など、地域の取組を聞きながら、いっしょに「持続可能な社会・地域づくり」を考えましょう。

取組を聞いてあれこれ質問してみんなで考えるワークショップ

参加のお申し込みは、二次元コード先の Google フォーム→
または電話か FAX(裏面)で、お名前と連絡先の電話番号をご連絡ください。
電話 026-269-0015(長野県NPOセンター) 月～金曜日 9:00~18:00

さまざまな悩みを抱える中山間地の自治体や地域おこし協力隊、社会貢献を実践・考えている企業、市民団体や NPO などをはじめ、地域のみなさんぜひお誘いあつてご参加ください。

【主催】環境省中部環境パートナーシップオフィス/EPO 中部
特定非営利活動法人 長野県 NPO センター
〒381-0034 長野県長野市大字高田 1029-1
電話 026-269-0015 FAX026-269-0016
メール info@npo-nagano.org

<協力>いもいりびんぐらぼ(芋井地区住民自治協議会)

⑥環境白書を読む会の開催

- 7月1日に、「環境白書を読む会」を東海学園大学(愛知県名古屋市)を会場に、オンライン配信を行いながら開催。
- 東海学園大学の学生による聴講と、webex参加、YouTube視聴による聴講者が計121人・件あった。
- また、第1部は通常の「環境白書を読む会」として令和5年度版白書の概説を行ったが、第2部では、会場の学生と中部地方環境事務所の職員による意見交換・質疑応答を行った。



令和5年版
環境白書を
読む会
(中部)

開催日:2023年7月1日(土)10:00~11:00
開催方法:Webex、YouTubeライブ配信
配信会場:東海学園大学名古屋キャンパス

主催:環境省中部地方環境事務所、
中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)

10:00~
令和5年版の環境
白書執筆に携わった
環境省の担当者による
白書解説

10:45頃~
質疑応答

- 質問をチャットへ記入願います。
- 時間の関係により、すべての質問に回答できない場合もございます。

⑦-1 信州の森林・里山フォーラム

Environment Policy Partnership Office Chubu
EPO中部
環境政策中部協議会(パートナーシップオフィス)

信州の森・里山フォーラム

**地域資源としての
森林・里山の価値向上について考える**

2023年12月19日(火) 13:30~16:00

プログラム(予定) ※ 変更になることがあります。

- 情報提供**

本フォーラムの趣旨について 環境省 中部地方環境事務所
信州における森林経営、森林サービスの現状と今後の展開への期待について(仮) 林野庁 中部森林管理局
森林の利活用と交流人口の増加を目指して 長野県林務部 信州の木活用課
- 森づくり・里山保全等の取組紹介**

東急リゾートタウン豊科の「もりぐらし」 東急リゾート&ステイ株式会社 資産企画統括部 徳田 圭太 氏
地域商社・機能会社とおした森林価値を高める多角的な事業 株式会社トビムシ 飯泉 浩二 氏
森林・里山の課題の解決と新たな価値創出 フォレストデザイン 代表 余碩 友康 氏
循環型社会・脱炭素社会の実現に向けた、「木」にかかわる新たなチャレンジ 中部電力株式会社 経営戦略本部 地域インフラ事業推進室 川口 雅哉 氏
- ディスカッション**

森林・里山の利活用と価値の向上について 進行：環境省 中部地方環境事務所

参加方法

参加方法は次の①②③のいずれかとなります。参加申込フォームの中で選択してください。

- ① 会場参加** 長野市生涯学習センター第1・第2学習室(トイゴウエスト3階)
長野市大字豊興四郎所前1271番地3 / JR長野新幹線光寺口より徒歩約10分
Googleマップ: <https://maps.app.goo.gl/hyD8u2i1N69Y64oH9>
- ② ZOOM参加** 質問等をされたい方は、①会場参加もしくは②ZOOM参加]をぜひお選びください。
- ③ YouTube視聴**

申込方法

- 参加申込フォームからお申し込みください。
参加申込フォーム: <https://forms.gle/DadoXM8aZALd3aU9>
- EPO中部ウェブサイトからも申込できます。
EPO 中部

主 催：環境省中部地方環境事務所・中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部)
共 催：林野庁中部森林管理局

- 12月9日に、長野県長野市で信州の森・里山フォーラム「地域資源としての森林・里山の価値向上について考える」を開催。
- 林業従事者ではないが、森林の価値向上と地域づくりに取り組む企業・活動者に登壇してもらい、新しい森林・里山のあり方、活用方法について取組紹介いただいたほか、「森のあり方＝地域のあり方」をテーマにしたディスカッションを実施。
- 会場参加、zoom参加、YouTube視聴で合計95人・件の聴講があった。



⑦-2 企業の生物多様性保全の取組についての勉強会

プログラム 1/2

13:30~

» 第1部 会場参加/Zoom参加/YouTube配信(一般視聴)

- ご挨拶 環境省中部地方環境事務所
- 講演① 名城大学農学部准教授 橋本 啓史 氏
- 講演② 愛知教育大学理科教育講座 准教授 島田 知彦 氏
- 自然共生サイトの事例紹介
自然共生サイト認定企業5社
 - ・ リコーえなの森… 株式会社リコー
 - ・ テクノ中部本店ビル屋上ピオトープ… 株式会社テクノ中部
 - ・ 人間環境大学 岡崎キャンパス演習林… 人間環境大学
 - ・ トヨタの森… トヨタ自動車株式会社
 - ・ ピオトープなががおか… シヤチハタ株式会社

- 1月26日に、環境パートナーシップ・CLUB (EPOC)共催による「企業の生物多様性保全の取組についての勉強会」を、主にEPOC会員企業を対象に開催。
- 学識者による講演や、自然共生サイト認定企業5社のサイト事例の紹介のほか、学識者・認定企業と参加者による3テーマ(①里地里山の保全、②在来種の保全、③希少種の保全)別グループディスカッションを実施した。
- 会場参加、zoom参加、YouTube視聴(ライブ)で計132人・件が参加した。

プログラム 2/2

15:05~ 休憩(5分)

15:10~

» 第2部:EPOC会合 会場参加/Zoom参加

司会/ファシリテーター: 環境省中部地方環境事務所

- 自然共生サイト認定企業とのグループディスカッション
- 質疑応答
- まとめ(講演講師による講評)

16:00

» 閉会の挨拶 環境省中部地方環境事務所



⑧-1 環境へのアプローチを活かした鳥羽の観光創発ミーティング

プログラム1/2

はじめに

- ごあいさつ
鳥羽市長 中村 欣一郎氏
鳥羽市温泉振興会会長
吉川 勝也 氏

- ごあいさつ／本日の趣旨
環境省 中部地方環境事務所

講演 (20分)

- 世界中の子育て家族から愛される宿が目指すサステナブルツーリズム
旅館「扇芳閣」5代目 代表取締役
谷口 優太 氏

話題提供 (10分×2)

- 鳥羽市の取り組み
～鳥羽のSDGsまなブック・ピリカ等の取り組み事例を紹介～
鳥羽市長 中村 欣一郎 氏

- 鳥羽温泉郷の取り組み
～海藻×環境×SDGsを紹介～
鳥羽市温泉振興会
事業推進アドバイザー 山下 正樹 氏
海女・フォトグラファー 大野 愛子 氏

- 1月16日に、鳥羽市、鳥羽市温泉振興会の協力を得て、鳥羽エリアの観光事業者による勉強会として「環境へのアプローチを活かした鳥羽の観光創発ミーティング」を開催。
- 宿泊施設・観光関係の事業者のほか、温泉振興会や市の職員など計33名が参加し、宿泊事業者等が取り組んでいる環境保全活動について学び、今後それらをどのように地域の中で横展開させていくかについてディスカッションを行った。

プログラム2/2

取組紹介 (各8分)

- 取組紹介1
鳥羽シーサイドホテル様
鳥羽シーサイドホテル株式会社
統括支配人
前田浩 氏
- 取組紹介2
鳥羽国際ホテル様
伊勢志摩リゾートマネジメント
株式会社 総支配人
惣明福徳 氏
- 取組紹介3
戸田家様
株式会社戸田家
取締役執行役員 業務支配人
穴倉秀明 氏
- 取組紹介4
ジ・アース様
The Earth
宿泊支配人兼業務マネージャー
向井隆広 氏
- 取組紹介5
鳥羽市リサイクルパーク様
NPOとはリサイクルネットワーク 理事長
中村孝 氏

取組紹介事例ごとのグループ別 ワークショップ (50分)

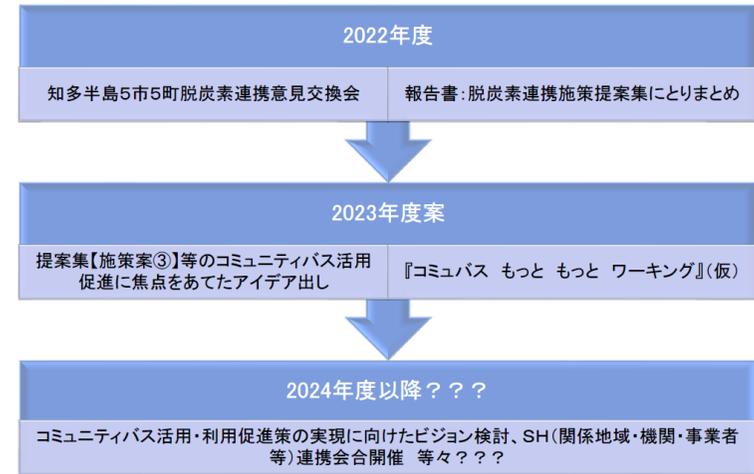
- 鳥羽の環境にやさしい取組
～これから私たちにできること～
 - ① 自分のグループの取組紹介事例を深掘りしてみる！
 - ② 事例の横展開／新たな取組展開を目指して地域のこれからも考えてみる！
 - ③ まとめ：「これからの鳥羽エリア観光はこうなる」をキャッチフレーズで考えてみる！



⑧-2 知多エリアの地域交通×脱炭素について考える（仮）

- 知多エリア5市5町の自治体による地域交通×脱炭素をテーマにした勉強会を3月に開催予定。
- コミュニティバスをはじめとする公共交通機関の利用促進・向上により、知多エリアの脱炭素促進を目指し、公共交通機関の利便性向上のアイデアを出し合うワークショップを企画。

知多半島5市5町脱炭素連携施策勉強会展開イメージ



1

公共交通“もっともっと”ワーキングのイメージ

“もっと”…もっと便利に、もっと環境によく、もっと乗ってもらう、もっと楽しく、もっと快適に…等々

①グループ(4-5人/G)ごとに“もっと”のアイデアを出してみる!

	環境	社会	経済
コミュニティバスの“もっと”を考える	EVで脱炭素で再エネで	渋滞対策 通勤・通学 乗り継ぎ 公共交通	通院 買い物 観光 商店街? ショッピングC?

②(グループ発表の後)他のグループのアイデアも取り入れて

	必要な取組	必要な関係者	その他
“もっと”をもっと実現可能にするには?			

※右資料は企画段階における地域側との打合せ資料

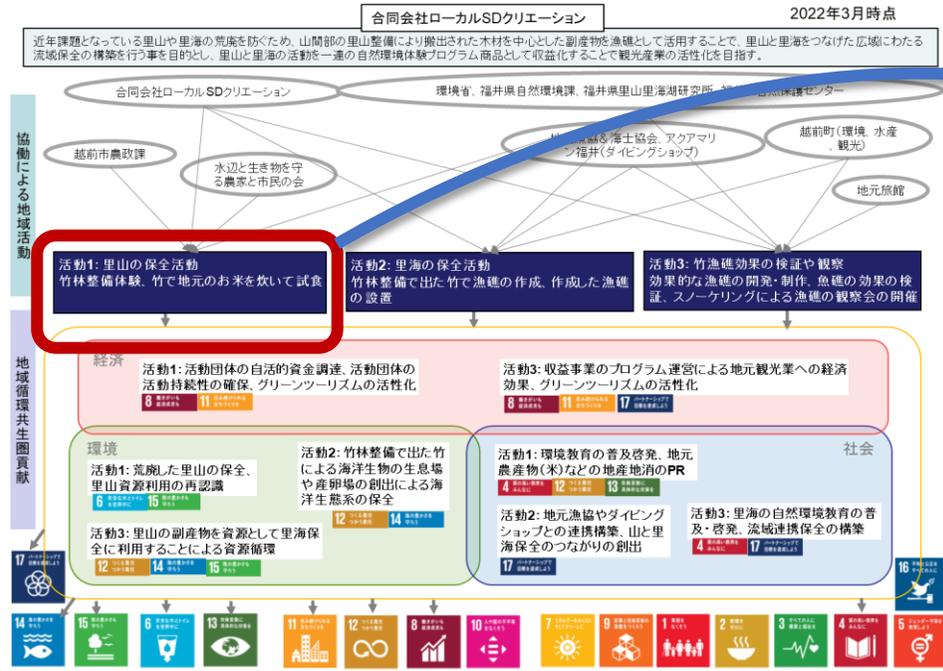
2

独自プログラムの作成・活用

活動見える化プログラムに接続するSDGs指標物語

● 活動見える化PとSDGs指標物語*: 活動の分析内容を考慮して指標を選定

「活動見える化プログラム」で活動内容を可視化



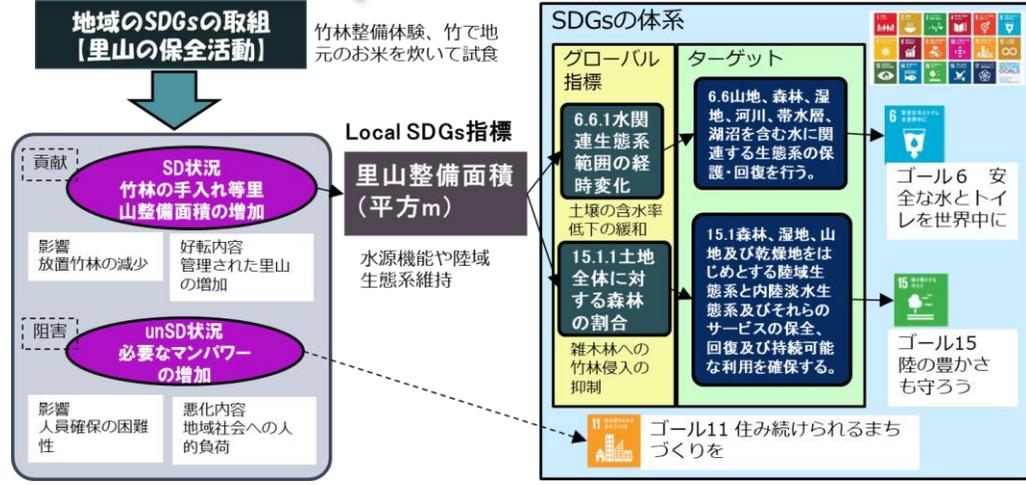
活動ごとに「指標」を選定

活動名称	活動1 里山の保全活動	活動2 里海の保全活動	活動3 竹漁効果検証や観察会など体験プログラム化
選定指標	里山整備面積 (平方m)	漁礁の設置数 (箇所)	観察会等収益事業プログラム運用売上(円)

選定した「指標」ごとにSDGsとの関わりを示す指標物語を作成

「活動見える化プログラム」、「SDGs指標物語」を合わせ2事例での評価を検討

- ・ 里山整備副産物を利用した 海洋資源保全に関する コンソーシアムの構築に向けて
- ・ いもいりビングラボの活動



*引用 原理史, 平川翼, 川村真也, 杉田暁, 伊藤恭彦 (2023) : 地域活動推進のためのSDGs指標物語, 環境共生, 39巻1号, p.66-76 (中部大学問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究IDEAS202014助成)

主催セミナーで「SDGs指標物語」等を紹介

自治体職員向けローカルSDGs/地域循環共生圏セミナー

ローカルSDGsの指標と達成度評価

～活用可能なサイト/ツールの紹介とトライアル(試してみましょう!)～

日時: 11月6日(月)13:30～16:30
会場: ウィングあいち12階・会議室1201
(名古屋市中区新大塚4-6-6/名古屋駅から徒歩約10分/https://www.wing-aichi.com/)

対象: 自治体職員 定員 50人(参加無料)
参加方法: 参加申込フォーム: 下記URLから
https://forms.gle/vsLPMu0QZ7ncPaf79
・QRコードから申込可致です。
・ウェブサイト(@EPO中部,で検索)からも申込できます。

第1部
・ごあいさつ、情報提供
—— 環境省中部地方環境事務所環境政策課
・EPO中部の紹介と本日の趣旨について
EPO中部
・[国研院] ローカルSDGsの定義とその進展に向けたアクションを踏襲するオンラインプラットフォーム
—— ローカルSDGsプラットフォーム https://local-sdgs.jp
—— プラットフォームグループバー https://platform-sdgs.net
—— 法政大学デザイン工学部教授 川久保 俊 氏
・[国研院] 自治体SDGsモニタリングツールと達成度評価(2015-2022)
—— 自治体SDGsモニタリング達成度ダッシュボード
https://ohbu-sdgs-platform.jp/information_dissemination/
—— 国際連合地域開発センター 研究員 浦上 奈々 氏
・[環境省EPO] EPO中部による「SDGs指標物語」と「活動見える化プログラム」
—— EPO中部 原 理史

第2部
・共有ディスカッション(SDGsの活用・実践における課題感、今回紹介サイト/ツールの活用アイデア)、川久保先生による講評 など

ご参加の際は、ノートPCやタブレットなどをご持参されますと、講評の解説を随時ご説明しながら、実際にサイト/ツールをお試しいただけます。

主催: 環境省 中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)

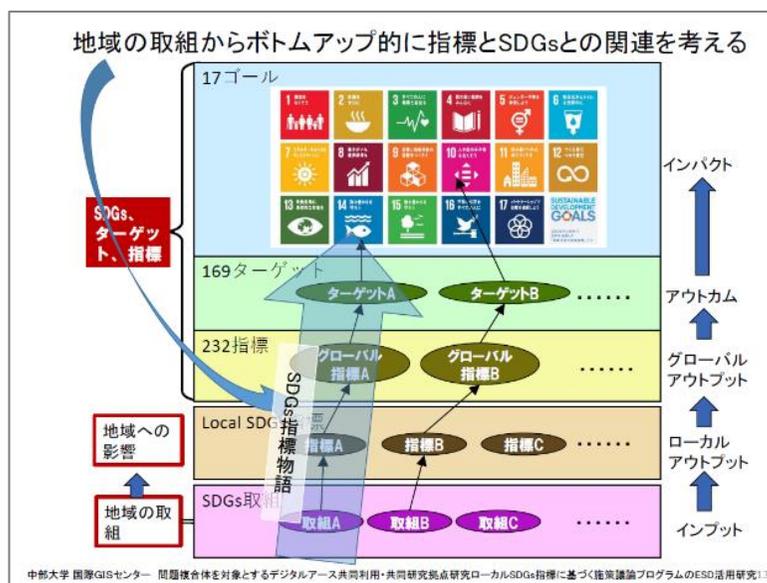
[事例を見る化]

EPO中部による「SDGs指標物語」と「活動見える化プログラム」

2023年11月6日



環境省EPO中部・中部地方ESD活動支援センター
中部大学中部高等学術研究所
原 理史(はら まさし)



「SDGs指標物語」の意義

SDGsの取組における評価や現状把握に際し、「SDGs指標物語」は「指標」から見た取組のSDGsにおける意義を説明する有効な「枠組み」となり得る。
↓
地域づくりにおいて評価の指標の内容や意義を共有する際の説明と理解に有用。

「SDGs指標物語」の課題

SDGs指標物語の作成における課題

- ・作成に手間がかかる
- ・SDGsの知識を元にした関連性を考察するため、ある程度の熟練が必要

SDGs指標物語の活用における課題

- ・複雑に内容についての理解しやすい説明方法の確立

「SDGs指標物語」の展望

- 「SDGs」とは限らない様々な目標についての「指標物語」の活用
- 既存の指標についての持続可能性の観点から問い直しへの活用
- 活動の振り返りをもち寄り、相互評価を行う営みである「評価活動」への活用

19

- 2023年11月開催のSDGs指標と達成度をテーマにした自治体職員向けセミナーで、事例の見える化ツールとして「SDGs指標物語」と「活動見える化プログラム」を紹介した。
- 基調講演講師や参加者から、地域単位のSDGs指標・達成度に対し、プロジェクト単位の指標の捉え方の重要性を認識することができた、ほかの見える化チャートも見てみたいなどの声が寄せられた。

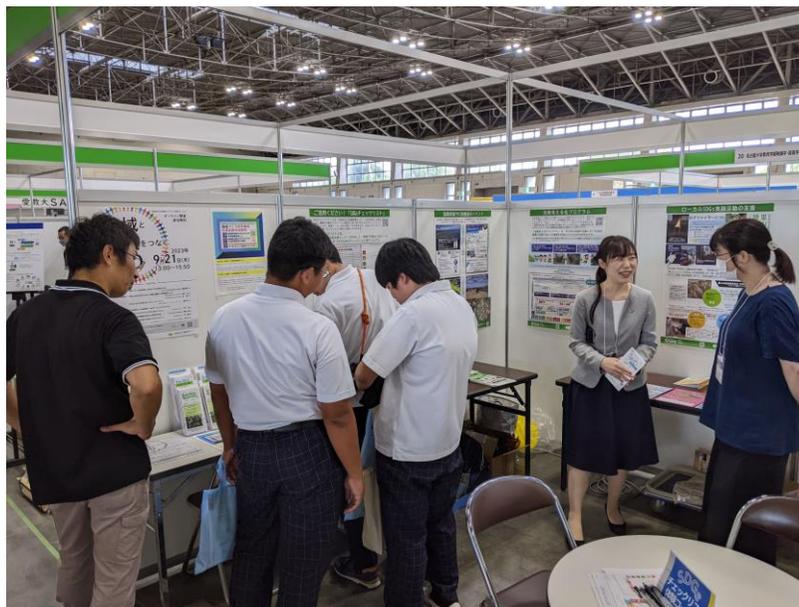
その他

そのほか連携・協力依頼等への対応

アサヒ飲料(株)中部北陸支社主催 「SDGs将来世代創造フォーラム」に出展

- 昨年度から協力している私立高校のインターンシップ・プログラムで高校1年生2人がEPO業務を体験。
- 高校生インターンに「SDGs将来世代創造フォーラム」のブース出展を手伝っていただき、中・高・大学生によるほかのブース巡りをしての取材・感想記事原稿を作成していただいた。
- 作成原稿は、ウェブサイト等で公開中。
 - <https://www.epo-chubu.jp/epo-news/20739.html>

▼隣のブースの高校生が
「SDGsチェックリスト」の記入体験



地球環境基金／全国ユース環境活動発表大会の支援

※ (独)環境保全機構との連携業務 <https://www.erca.go.jp/>

- 次年度の地球環境基金(助成金)公募の説明会を10月31日に開催。
- 12月10日開催・全国ユース環境活動発表大会への協力。※中部からは「長野県佐久平総合技術高等学校」「福井県立福井商業高等学校」が全国大会へ進出。

愛知県環境学習コーディネート業務

※ 愛知県からの受託業務

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/0000060443.html>

- 環境学習に関する学校等からの相談・照会依頼に対し、相談業務10件、コーディネート業務7件を実施。



2024年度
地球環境基金助成金説明会
in 中部

2023年10月31日(火) 18:00~19:30 オンライン(ZOOM)

中部地域以外の方もご参加いただけます。
地球環境基金WEBページから動画を事前視聴のうえご参加ください。

地球環境基金は、民間団体(NGO・NPO)による環境保全活動を幅広く支援(資金の助成等)を行うことを目的に、独立行政法人環境再生保全機構によって運営されている基金です。来期・2024年度の助成金交付先の募集を開始するにあたり、全国8地域・テーマで説明会を開催します。説明会では、テーマ別セミナーや各地域における助成先団体の活動事例を紹介するほか、要望書記入についての留意点や作成のポイントを説明し、事前に受け付けた質問等に地球環境基金の担当者が回答します。全国の説明会の日程やテーマは、webページからご確認ください。

プログラム

第1部 18:00~
セミナーと地域の活動事例紹介
①テーマ別セミナー
ESD活用のための地域情報の可視化手法
講師：原 理史(はらまし)氏
中部大学中部高等学術研究所
②中部地域における助成先団体の活動事例紹介
[2020年度・2021年度・2022年度/ひろげる助成]
自然エネルギー100%を目指す「持続可能まちづくり」。
電気・熱・交通での省エネシェア/創エネ
講師：浅輪 剛博(あさわたくわ)氏
一般社団法人自然エネルギー共同設置推進機構(NECO)

第2部 18:50~
地球環境基金助成金要望の募集について
①地球環境基金助成金について
②要望書の書き方講座
③質疑応答…申込時に受け付けた質問にお答えします。

個別相談会
地球環境基金の担当者がオンラインでご相談を承ります(1団体15分以内)。
日程 10月26日(木)・31日(火)、
11月6日(月)・9日(木)・10日(金)
時間 午前の部▶10:00~12:00
午後の部▶14:00~16:00
夜間の部▶18:00~20:00
申込 地球環境基金webページ内
申込フォームから webページ
締切 各開催日の
2営業日前まで

個別相談会の問合せ
独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金部
TEL: 044-520-9505
E-mail: kikin_youbou@erca.go.jp

助成金説明会の申込み&問合せ
参加申込フォーム
説明会の参加申込フォームからお申し込みください。
開催日前日までにZOOMの参加URLをお送りします。
環境省 中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)
TEL: 092-218-9605 (電話による申込は受け付けておりません)
主催: 独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金部
協力: 環境省 中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)
申込締切: 10月27日(金)

